



野々市RC会報

第1821回例会会報

金沢国際ホテル

2017年9月27日(水曜日)

例会

- 開会点鐘
- ロータリーソング「我等の生業」

会長挨拶

■会長 石澤 康 様

こんばんは！

お客様をご紹介させていただきます。

公益法人石川県隊友会 理事 榎木 良彦 様
です。隊友会とは自衛隊を除隊した人によるボランティア活動をしている会だそうです。この後の卓話を宜しくお願いいたします。



2年後、野々市ロータリーは40周年を迎えます。9月6日の理事・役員会で副会長 宮川さんから紹介がありました。実行委員長は瀬村 隆治さん、実行幹事は織田 英也さんです。皆様よろしくお願いいたします。

9月の活動として先日、野々市ロータリーから13名が東京ロータリーの例会に訪問してきました。東京ロータリーの例会ではフレンドリーに接していただき、素晴らしいロータリーでした。一人では心細かったですが、13名で訪問でき、心強かったです。また機会があればいろいろなロータリーを訪問したいです。

また、野々市中学校の運動会と野々市市美術展に来賓として出席してきました。美術展では漢詩の書を書いた作品に野々市ロータリー賞を授与してきました。

また、メンバーの矢原さんも美術文化協会会員の奨励賞を受賞されていました。

えのき よしひこ

本日の お客様

- 公益法人石川県隊友会 理事 榎木 良彦 様



野々市RC会報

第1821回例会会報

金沢国際ホテル

2017年9月27日(水曜日)

幹事報告

■幹事 榎本いずみ 様

- ・10月1日(日)は水源の森育成プロジェクト例会です。野々市市役所から8時にバスが出ます。鶴来街道を通過して途中乗車の方をお迎えに行き、9時10分に現地に到着する予定です。当日は公益社団法人石川の森づくり推進協会の方にお世話になります。長袖・長ズボン・長靴でお越しください。お食事の前に白山温泉総湯に行きますので、入浴用のタオルなどもご持参ください。お食事は白山苑さんです。
- ・従って、10月4日(水)の例会はございません。
- ・本日例会終了後、後方テーブルにて臨時理事・役員会を行います。対象者はご出席をお願いします。
- ・10月は米山月間です。それに伴い「よねやま豆辞典」をお配りしております。米山月間に限らずお使いいただける資料となりますのでご活用ください。
- ・東京ロータリークラブ様より訪問した週の週報をいただきました。野々市RCがニコニコボックスに掲載されております。各テーブルに置いてありますので是非ご覧ください。
- ・10月1日(日)の代休として10月2日(月)は事務局はお休みです。
- ・派遣留学生 笠間なずなさんより近況報告メールをいただきましたのでご紹介いたします。



委員会報告

■奉仕プロジェクト委員会 委員長 中村俊昭 様

- 10月1日(日)水源の森育成プロジェクトについて
- ・8時に野々市市役所を出発します。
- ・山では長靴は必須です。
- ・アルコールもご用意しておりますので、お車で来られる方は十分お気を付けください。



■下原 学 様

- 10月18日の卓話者 彫刻家 山下晴子様 の作品集を回覧いたしますので是非ご覧になってください。



■清水 良典 様

会葬御礼



野々市RC会報

第1821回例会会報

金沢国際ホテル

2017年9月27日(水曜日)

卓話者のご紹介

■吉田康志 様

今日の卓話をさせていただく榎木良彦さんは、実は小学校、中学校の同級生です。

当時から生徒会長や剣道部の副主将をされるなど活発な方でした。防衛大学を卒業後、自衛隊に入隊され、現在は金沢工業大学に所属されています。

本日は「クライシスマネジメントー東日本大震災の現場で感じたことー」をお話しいただきます。よろしくお願いします。



えのき よしひこ

卓話

■公益法人石川県隊友会 理事 榎木 良彦 様

「クライシスマネジメント ～東日本大震災の現場で感じたこと～」

隊友会とは自衛隊を除隊した人によるボランティア活動をしている団体です。

榎木様は防衛大学を卒業後、陸上自衛隊で幹部として34年間勤務され、東日本大震災では災害派遣隊の指揮官として活躍されました。

津波の様子や災害現場での印象的な写真とともに東日本大震災での災害派遣隊としての経験を語っていただきました。



津波は陸上に上がると時速30 kmほどですが、川などの狭いところでは時速60～90 kmに加速し、逃げ切れないそうです。

津波には波長があり、東日本大震災の津波の波長は長さ60 kmにもおよび、1時間近く海面上昇が続いたことが災害を大きくした原因だったそうです。

榎木さんの部隊は福島県の山本町に入ったのですが、可住地域の63%が浸水し、海岸から4 kmまで波が押し寄せた場所もあったそうです。

東北の太平洋側には江戸時代の参勤交代の時に「浜通り」と「中通り」が整備されたそうですが、「浜通り」は過去の浸水被害にあった境界線で、ところどころに水神様や石碑など、過去に浸水被害があった痕跡が残されているそうです。

先人たちの言い伝えは3代（およそ100年）経つと忘れてしまうと言われていますが、我々は今回の教訓を忘れないようにしなければなりません。



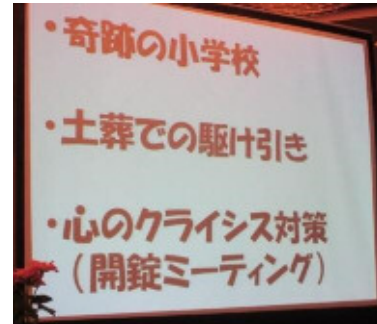
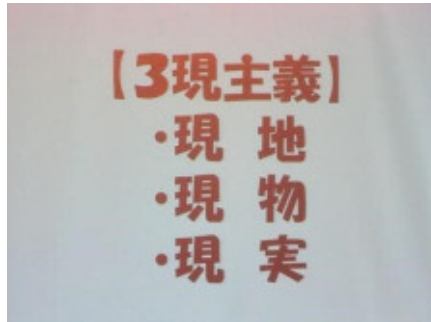
野々市RC会報

第1821回例会会報

金沢国際ホテル

2017年9月27日(水曜日)

卓 話



榎木さんの部隊は総勢350名が小学校のグラウンドにテントを張り、63日間活動しました。

「奇跡の小学校」

地震発生直後、小学生と先生はグラウンドに一旦集合し、点呼をしました。その後30分ほどかけて山手の小学校へ2次避難するのが決まりましたが、校長先生は尋常ではない地震を考慮し、山手の小学校へ2次避難するのではなく、小学校の3階部分へすぐに非難するように命じ、その場にいた全員がすぐに校長先生に従い、梯子を使って3階へ避難したそうです。地域の人も含め全員を避難させたところで津波が小学校を襲い、小学校の2階まで到達し、難を逃れたそうです。おそらく山手の小学校へ避難していたら全員が助かっただけでしょう。

そこで、緊急時は皆で相談するのではなく、「決めるべき人が、決めるべき時に決断し、命令する」。このような指揮官の判断が緊急時には大切だと思いました。

「土葬での駆け引き」

当時、たくさんの方が亡くなったため、特例として厚生労働省が一時的な土葬を許可しました。隊員は遺体を発見すると担架に乗せて運び、綺麗に洗ってから警察が検死を行う遺体安置所へ運びます。検死が終わると仮安置所に運び、棺桶に入れてから、穴を掘った場所に運び、そこに埋めてから家族が確認に来るまで管理をしていました。そこでは全国から僧侶の方が集まり、お経をあげてくれました。

ところが、警察庁、厚生労働省のほうから防衛省へ「自衛隊は目立ちすぎだ」とクレームが来て遺体収容作業が中断しそうになりました。

隊員たちが愕然としていたところ、指揮官が「今ここに泣いて途方に暮れている人たちがいる。それをなんとかできる力と人数を持つ我々がいる。やろうじゃないか。それをやったことの是非につ



野々市RC会報

第1821回例会会報

金沢国際ホテル

2017年9月27日(水曜日)

卓 話

いては歴史が評価する。迷うな！」と隊員を激励し、作業をやめなかったそうです。

この指揮官の言動は「現地」「現物」「現実」三現主義の神髄を見たような気がしました。

「心のクライシスマネジメント 開錠ミーティング」

津波の影響で車、家、木、動物、人等あらゆるものが混ざり合ったがれきが、山際に張り付くように5～6mの高さで積み重なっていたそうです。最初の2週間は手作業でがれきの除去を行っていましたが、2週間経つと全国から土建業の方たちが重機をもって駆けつけてくれ、自衛隊員と一緒にがれきの撤去を行ったそうです。

ご遺体にはきれいなご遺体と、損傷が激しいご遺体がありました。作業中は誰一人心を病む者はいませんでした。撤収後にPTSDを発症した者がいました。

榎木さんも3.11が近づき、当時の映像などを報道などで目にすると自然と涙が止まらなくなるそうです。

現地では毎日、作業終了後に「心の開錠ミーティング」を行っていました。その日にあった「嫌だったこと」「かっこ悪かったこと」「恥ずかしかったこと」「残念だったこと」などを順番に話し合っていました。子供のご遺体を発見し、自分の子供と重なり手が震えて何もできなかったこと、内臓が飛び出たご遺体を収容する際に吐いてしまったことなどを若手、先輩関係なくチームで感情を吐露、共有し、また翌日も夜明けとともに作業を開始することを63日間続けていたそうです。

このミーティングがあったからこそ、63日間という長期間、過酷な環境で耐え抜くための精神力を維持できたのではないかと思います。

また質疑応答では災害時の対応として、水害の際は水圧でマンホールが浮いて穴が開いていることが多く、水面下にある見えない穴などに落ちないように棒をもって歩くとよいこと、停電時などでも自家発電できるFMラジオを持っていれば、避難所や配給の情報、避難者の情報が地域の自治体ラジオ局から24時間得られること、最初の72時間はプロに任せ、その後は被災地のボランティアや寄付等の募集に合わせることを、救援のタイミングや方法を間違えらるゝかえって迷惑になることをを教えてくださいました。

この度は貴重なお話を聞かせていただきまして、誠にありがとうございました。



野々市RC会報

第1821回例会会報

金沢国際ホテル

2017年9月27日(水曜日)

ニコニコ
ボックス

■齊藤 邦博 様

卓上の花：スプレーバラ 花言葉：愛、一時の感銘

卓上の花ご購入者：

上田さん、齊藤さん、新保さん、田嶋さん、宮森さん



石澤 榎木様 よこそいらっしゃいました。貴重な卓話ありがとうございました。

吉田康志 榎木様 今日は卓話ありがとうございました。

北潟 榎木様よろこおいでくださいました。卓話に国土を感じております。

宮森 公益夫人石川県隊友会理事榎木良彦様よろこお越しいただきありがとうございます。石澤会長、先日は野々市中学校運動会お疲れ様でした。

上田、松岡、立石、柳川、齊藤

本日の収入額 11,500 円 累計 268,769 円

4 つ の
テ ス ト
唱 和

■柳川 勇人 様

■閉会点鐘

カメラ：吉田哲郎さん、記録：柳川さん

お問い合わせ先

野々市ロータリークラブ

〒921-8821 野々市市白山町8番15号 TEL:076-294-1232 FAX:076-294-1522 E-mail:jimu@nonoichi-rc.jp